

No.	022	—	1007-1008	事務事業名	奨学金支給事務		細事務事業名			公的関与	9					
PLAN	課名	学校教育課		係名	学事係		電話番号	089-964-4420		メールアドレス	gakkokyoiooku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等		実施計画	非該当		事業期間	昭和 38 年度 ~ 期間設定なし					
	総合計画	政策目標 第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	(3) 確かな学力を育てる教育の推進								
	事業の対象	東温市立中学校の第3学年に在学し、学校教育法第1条に規定する高等学校等に進学が見込まれる方、または高等学校等に在学中の方					根拠法令	東温市奨学金運用規則								
	事業の目的	最終的	成績優秀でありながら、経済的理由により就学が困難な方に対し、高等学校等の正規の修学期間中、月額10,000円を付与します。				今年度	新規採用1名を含め、5人に付与しています。次年度奨学生候補者についても、制度にふさわしい選考を行います。								
	活動内容	①	広報とうおん、市ホームページで、1月から2月にかけて奨学生の募集を行います。				④									
		②	奨学金運用委員会を開催し、応募者の中から奨学生候補者の選考を行います。				⑤									
		③	年間4期に分けて奨学金を支給します。													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
				業務の性格上、指標設定になじまないと考えます。			目標									
					実績											
					目標											
					実績											
DO	予算費目	会計		一般会計			費目名	教育			費					
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考									
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円										
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円										
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円										
		一般財源		840 千円	840 千円	840 千円										
	計(A)		840 千円	840 千円	840 千円											
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.006 人	36 千円	0.006 人	37 千円	0.006 人	37 千円								
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)		876 千円		877 千円		877 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	学事係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)														
	必要性	志を持ちながら経済的理由により高等学校等への進学・就学困難な生徒の教育を受ける機会の確保に寄与するものとして実施する意義があります。近隣自治体と比較した場合、返済義務がない給付型である本市の制度は稀なものです。														
	有効性	学習意欲がありながら、経済的に厳しい家庭の生徒が対象であることから、月額10,000円の付与は有効性があります。														
	達成度	運用規則の趣旨にのっとった奨学生の選考が行われています。経済的理由にのみ注目しないよう留意していきます。														
	効率性	令和元年度には、100万円を超える多額の寄付をいただきましたが、制度の継続を前提とした財源確保の検討が必要です。														
	当面の課題	現行制度を継続していくための財源である寄付金の確保が課題となっております。														
	改訂計画	財源の確保を図るために、制度の目的や意義について広報等で周知します。														
二次評価者	学校教育課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持		
二次評価での指摘事項	奨学金の付与に関しては適正に実施されています。今後においても財源確保のための方策の検討に努めてください。															

No.	022	—	1009-1010	事務事業名	外国語指導助手派遣事業	細事務事業名		公的関与	2						
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 6 年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	(3) 確かな学力を育てる教育の推進						
	事業の対象	主に中学校における外国語科の授業補助、小学校における外国語活動の授業補助				根拠法令									
	事業の目的	最終的	外国語教育の充実、国際交流の発展を図ることを目的としています。			今年度	重信中学校には外国語指導業務委託契約により民間企業から派遣されている外国語指導助手、川内中学校には市が直接任用した外国語指導助手を配置しています。								
	活動内容	①	小中学校における外国語授業の補助を行います。			④	英語弁論大会等の運営協力を行います。								
		②	外国語教材作成の補助を行います。			⑤									
		③	教員に対する現職研修の補助に従事します。												
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標					
				業務の性格上、指標設定になじまないと考えます。		目標									
				実績											
				目標											
				実績											
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費					
	直接事業費			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	平成 元 年度予算	備考								
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源		8,986 千円	8,922 千円	9,400 千円									
	計(A)		8,986 千円	8,922 千円	9,400 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.010 人	60 千円	0.010 人	61 千円	0.010 人	62 千円							
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		9,046 千円		8,983 千円		9,462 千円								
CHECK-ACTION	一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	令和2年度からの外国語活動の授業数増加に伴い、外国語指導助手配置の必要性はさらに高まると考えます。													
	有効性	外国語指導助手が授業の補助に入ることによって、児童生徒の外国語や異文化に対する関心の高まり、コミュニケーション能力の向上に寄与すると考えます。													
	達成度	外国語指導助手が授業を補助することによって、児童生徒の外国語教育の充実、国際理解への関心が図れていると考えます。													
	効率性	市による直接雇用と民間企業との委託契約の双方による事業を実施していますが、効率よく実施できていると考えます。													
	当面の課題	より効果的な活用方法の研究が必要です。													
	改訂計画	教員と外国語指導助手の協力関係を深め、授業内容や教材の工夫等により、児童生徒の関心やコミュニケーション能力を高めます。													
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	民間委託等		
二次評価での指摘事項	新学習指導要領に沿った効果的な外国語指導助手の派遣が必要です。直接雇用により派遣しているALTについても、民間委託等への研究・検討が望まれます。														

No.	022	—	2005	事務事業名	登下校通知システム事業	細事務事業名	登下校通知システム保守事務	公的関与	5						
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp							
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 期間設定なし						
	総合計画	政策目標	第4章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	1 学校教育の充実		主要施策	(2)安全・安心な教育環境の整備						
	事業の対象	市内小学校のシステム利用を希望する児童・保護者				根拠法令									
	事業の目的	最終的	登下校における児童の安全確保			今年度	登下校における児童の安全確保								
	活動内容	①	ICカードとインターネットメールを用いて、児童の登下校時刻を保護者の登録されたEメールアドレスへ送信します。				④								
		②					⑤								
		③													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 元 年度	最終目標				
				業務の性質上、指標設定になじみません。			目標								
					実績										
					目標										
					実績										
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費					
	直接事業費	平成 29 年度決算		平成 30 年度決算		平成 元 年度予算		備考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	122 千円		87 千円		159 千円								
	計(A)	122 千円		87 千円		159 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.060 人	361 千円	0.060 人	368 千円	0.060 人	374 千円							
臨時職員工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)	483 千円		455 千円		533 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	3	今後の方向性	現状維持	
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
	必要性	児童の安全・安心な登下校を実現するため、必要な事業です。													
	有効性	児童の安全・安心な登下校を実現するため、有効な事業です。													
	達成度	通知を希望される全ての方に対し、適切な情報提供ができています。													
	効率性	同種の登下校見守りサービスの中で比較して安価かつ効果的な手法です。													
	当面の課題	児童クラブの受入可能学年が3年生までから6年生までに拡大され、下校時における保護者の送迎が増加したこと等に伴い、本システムの利用者は減少傾向にあります。一方で、登下校中の児童が被害者となる事件や事故が続げざまに発生していることから、本システムの周知徹底を行い、利用者の拡大を図る必要があります。													
	改革計画	学校との連携を強化し、本制度の保護者への周知徹底を図ります。また、児童・保護者が利用しやすい制度への移行等について、引き続き研究します。													
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持		
二次評価での指摘事項	児童の安全確保には有効な手段だと思われます。利用者の減少による市、保護者の負担の増加に対する懸念や今後における急速技術革新が行われているスマートフォン等、他の方法による登下校の安全確認についての研究・検討が望まれます。														